

人間の成長・発達による表現の変容

幼児期
(1 ~ 5 歳)

受動的表出

自分の感情や興味の赴くままに行うエモーショナルな表出

児童期
(6 ~ 11 歳)

意図をもって自分を表す方法の体験的獲得

→ 表現の基礎的方法を体験的に獲得していく。

人間・自然・文化

思春期
(12 ~ 15 歳)

外界に働きかけることによる自己確認
意図を的確に表す基礎的方法の獲得

外の世界の価値を取り込み、自己の価値付けを補強していく

青年前期
(16 ~ 18 歳)

自己の内面を深く見つめ、
自己存在や文化の意味を追求

自己存在の真の意味を獲得しようとする模索期
芸術の意識、芸術世界への憧れ

青年後期
(19 ~ 25 歳)

自己にとっての価値(意味)の追求
自己の価値世界の創造

社会的存在としての自己の意味の認識、自己価値の創造
芸術の追求・創造